



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No.11

令和6年 8月26日

文責：校長 齋藤和彦

7月末に秋田/山形を襲った東北豪雨災害に見舞われた皆様（保護者皆様のご親戚）の一日も早い、平穏な日常生活状態への復興をお祈りいたします。また、8月には南海トラフ「巨大地震注意」発表により、大地震発生の可能性が高くなっている不安とその備えが、日常生活につきまとう日々を過ごさざるを得なくなっています。2学期からの学校生活におきましても、『子ども達の安全安心を最優先』とした教育活動を継続します。

夏休みの思い出 (自慢大会ではなく..)



みなさんは、長～い夏休み37日間をどのように過ごしましたか？

みんなに「いいなあ～」と羨ましがられるような特別なことを聞いているのではありません。(夏休み自慢大会ではありません)

～夏休みだから..気がついたこと。

～夏休みだから..がんばってみたこと。

～夏休みにしか..できなかったこと。

を聞かせてください。(家族旅行は家族の思い出に)

「ぼくは夏休みなのに、お母さんは毎日仕事に行っていて、えらいなあと思いました。」

「ラジオ体操を続けました。全国の巡回地名が地図のどのへんかわかってきました。」

「休みはうれしいけど、こんなに長く休みだとやる事がなくて、学校に行きたくなりました。友だちに会いたくなりました。」

「夏休みだから、特別にすいかを半分の丸に切ってもらいました。おいしかった！」

「兄弟げんかばかりしているから、ご飯作ってやらない！といったのに、みんなで回転寿司に行きました。けんかしたら..また明日も回転寿司に行けるかな。(笑)」

「じいちゃんとはあちゃんが来たので、お母さんがはりきっておいしいものばかり作ってくれました。」

「いとこが来て、怖い話をしました。すごく怖くて、いとこと一緒に寝ました。お父さんの本当にあった話も怖すぎました。」



～いい夏休みでしたね。

きっと、2学期もがんばれるよ！

次は..あっという間に冬休み。

市合唱祭（特設合唱部） 県大会出場 おめでとう！

8月22日（木）市合唱祭に出場しました。夏休みにがんばった練習の成果を発揮して薫小特設合唱部の県大会出場が決まりました。県大会は9月9日（月）福島市で開催されます。

特設部活動（体育/合奏/合唱）に取り組む子ども達の姿からは、『努力は必ず報われる』という言葉を改めて感じさせられます。走力フォーム、演奏や発声の技術が日に日に上達していくさまです。～努力しているから..です。



◆◆ 校長室より ◆◆ 「1年生のお手紙」から



ずっとずっと前のできごとです。夏休みも終わりに近づくころ..学級の子からお手紙が届きました。

せんせいにあいたいな。なつやすみがはやくおわ(っ)てほしいです。なぜとゆ(い)うと、いすのつめたさが、は(わ)からなくなってしまいました。それと、せきがわからなくなりそうです。おわり 1年 〇〇〇より

当時は、学童保育や塾通いなんてなかったの、どの子も家で（兄妹で）勉強して..近所の友だちと公園などで遊んで..学校のプール実施日であれば必ずそこ行って..共働きの親が作り置きしてくれたお昼のお弁当を食べて..また遊んで..毎日決まってやってくる夕立の中～テレビを見ながら、親の帰りを待っていた時代でした。この子の親も共働きでした。(休みはほとんどない..おいしいお弁当屋さんでした)

夏休み明けに、みんなが家族旅行の話や有名テーマパークに行ったことを話す中..この子はどんな気持ちで聞くのだろうと考えました。

夏休み明けの1時間目は、『家族旅行の思い出は家族の思い出に大事にしまっておいてね』と、家族旅行自慢大会ではなく、左記のように聞いてみました。子ども達からは、次から次に特別に長い夏休みのできごとがあふれだしました。

きっと、子どもって、親とたっぷりとお話できること、お話をたっぷりと聞いてもらえること、何気ないことでも親も一緒に笑ってくれることが、何よりもうれしいのだと（満足）思います。きっと..今日だって、明日だって。